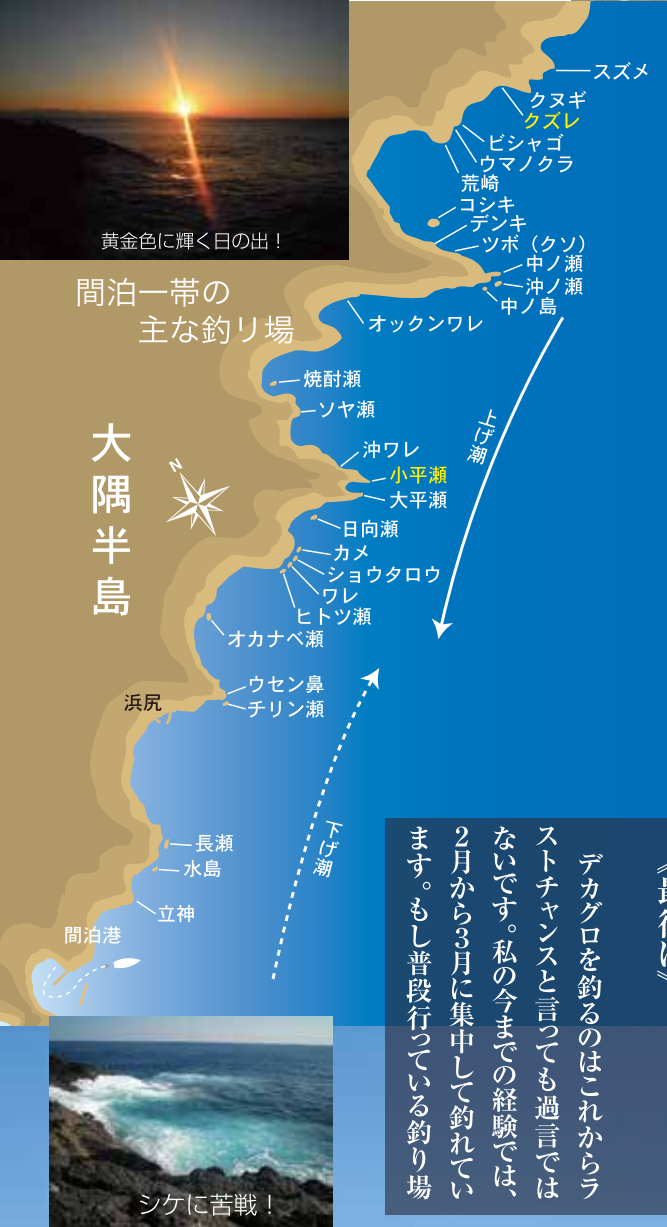




1月31日 間泊 小平瀬にて 40後半まででした!



このローテーションをおろそかにすると、デカグロはまず釣れません。潮を見て、マキエサを打つて、一番いいタナになるべく違和感を持たれないようにキッチリ入れ込むための仕掛けを作ります。

「あ〜でもない、こ〜でもない」といろいろ、試行錯誤を繰り返してクロとの間合いを詰めていきます。それと、道糸とハリスは、単に新品と言いたいですが、無理なことも多いので、なるべく前の晩に道糸をチェックして、少しでも傷が付いていたり、ザラついていれば、切って捨てて下さい。私は10ピロから20ピロぐらい捨てるようにしています。

《最後に》

デカグロを釣るのはこれからラストチャンスと言っても過言ではないです。私の今までの経験では、2月から3月に集中して釣れています。もし普段行っている釣り場

有園さん



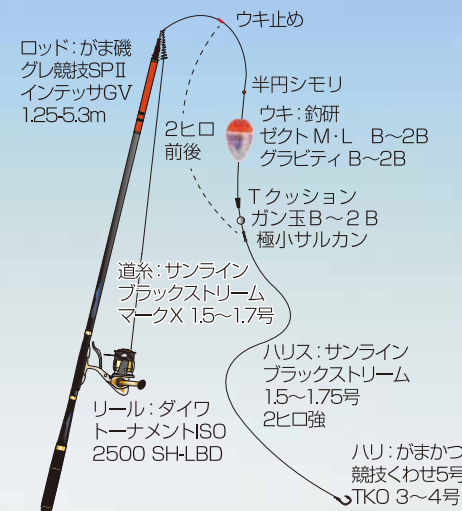
であまりいい思いをしていない方は、思い切つて違う釣り場、または離島などに出かけてみるのもいいです。離島はクロが多いので、割と長い期間釣れ続けます。

私は、天気を見てなるべく時化ない場所に行くようにしています。そしてこの乗っ込み季は、人気の無い瀬に降りて二生懸命頑張るようにしています。目指せ50cm、2kgオーバー!!

堀之内さん



※私が一番多用している仕掛け



《仕掛け》

デカグロ口太狙い。しかも産卵前で神経質になっているクロを狙うのならば、やはり釣り人も多少のリスクは背負わなくてはならないのではと思います。太い仕掛けで強引に釣れるほど甘くはないでしょう。軟らかい竿、細い糸、小さい細めの鉤をセレクトするよ

うにします。問題は、ウキ選び、そしてタナの設定もしくは、全遊動等、仕掛けの重要度かなりupします。初冬の磯のようにゼロ釣法だけで釣るのは、限界があります。

0ウキを使用する時は小さめのジリタンを打ち深く入れたり、0aや00などで全層釣法のようなやり方で、マキエの沈下速度と、緒

にゆつくり落とし込むようにすると効果的です。アタリはラインの走りどとれるように釣ります。話しは変わりますが、クロ釣りで大事なのは、「潮」「マキエ」「仕掛け」だと思います。なかでも度合いの割合は、秋は「マキエワーク」、冬は「潮を釣れ」そして春は「仕掛けローテーション」が重要だと思います。

仕止りはしっかりと、程よい弾力で、オキアミ原型も載せておく



乗っ込みデカグロ、オススメ配合例

《マキエサ》

今の時季は、やはり集魚力をメインに考え配合エサを選びます。私の1日分のマキエサは、オキアミ生3kgを2角、ジャンボアミ1角。ツケエサ用にオキアミ1.5kgを1角。配合エサは、マルキューのV9、徳用を1袋、アミパワーグレー1袋、

超遠投グレー袋を準備し、これを2回に分けて使用します。V9は、まとまりがあつて遠投もしやすく、海中では拡散するという優れたものです。アミパワーグレーは、パン粉系にアミエキスがしみ込んでいて集魚力が強いです。超遠投グレは、名前の通り、遠投をしやすくする役目と、着水すると白濁

して見やすく、マーカー的な役目をしてくれます。

混ぜる時は、オキアミはあまりつぶさないように心掛け、逆にアミはつぶして臭いを出すようにすると効果があると思います。

ラストチャンスだ!!
目指せ50cm
2kgオーバー!!